

標準塗装仕様(塗り替えの場合)

● 高意匠サイディングボードクリヤー仕上げ

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地調整	高意匠サイディングボード面を補修したのち水洗いし、十分に乾燥させてください。エフロレッセンスはスクレーパー、ワイヤーブラシなどで削り落とす除去してください。						
セラミック系	下塗り	ビュアライド UVプロテクトクリヤー(つや有り)	1	0.12~0.14	4時間以上	塗料用シンナーA	20~40 5~10 0~10 エアスプレー エアレススプレー ウールローラーはけ※
	上塗り	ビュアライド UVプロテクトクリヤー(つや有り・3分つや有り・つや消し)	1	0.12~0.14	—	塗料用シンナーA	20~40 5~10 0~10 エアスプレー エアレススプレー ウールローラーはけ※
フッ素系	下塗り	ビュアライド UVプロテクト4Fクリヤー(つや有り)	1	0.12~0.14	4時間以上	塗料用シンナーA	20~40 5~10 0~10 エアスプレー エアレススプレー ウールローラーはけ※
	上塗り	ビュアライド UVプロテクト4Fクリヤー(つや有り・3分つや有り)	1	0.12~0.14	—	塗料用シンナーA	20~40 5~10 0~10 エアスプレー エアレススプレー ウールローラーはけ※

(注)・上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗装物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。・施工上の注意をよくご確認ください。
塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(輪か、剥れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)
※下塗りはつや有り系、上塗りは両品種もしくは両品種のつや調整品をご使用ください。 ※タグした塗料が揃った場合に、目地はけで広げてください。 ※UVプロテクトクリヤーとUVプロテクト4Fクリヤーは混合できませんのでご注意ください。

製品体系

製品名	系統	容量	色相	つや	塗り面積/缶当り/1工程	ポットライフ(23℃)
ビュアライド UVプロテクトクリヤー	高意匠サイディングボード用セラミック系外壁保護クリヤー	15kgセット(■12kg ■3kg)	透明	つや有り・3分つや有り ・つや消し(15kgセットのみ)	115m ²	6時間
		3kgセット(■2.4kg ■0.6kg)			23m ²	
ビュアライド UVプロテクト4Fクリヤー	高意匠サイディングボード用フッ素系外壁保護クリヤー	15kgセット(■12kg ■3kg)	透明	つや有り・3分つや有り	115m ²	6時間
		3kgセット(■2.4kg ■0.6kg)			23m ²	

注)「つや消し」は、UVプロテクト4Fクリヤーには設定しておりません。(UVプロテクトクリヤーのみの設定となります。)

■施工上の要点及び注意事項 (詳細な内容につきましては、製品使用説明書などにてご確認ください。)

- 被塗面の洗浄やエフロレッセンスの除去に酸性洗浄剤・アルカリ性洗浄剤などの薬剤を用いる場合、薬剤洗浄前に被塗面に十分な水を含ませておき、薬剤洗浄後の水拭きは、高圧水洗もしくはブラシなどをを用いて入念に行ってください。薬剤の残留はそのまま本品を塗装しますと塗膜の硬さ、白濁はけなどを起こすおそれがあります。水洗後、塗面のpHを確認する場合は、pH試験紙を塗面に押し当てて測定してください。
- 光触媒のサイディングボードには適応しておりません。光触媒処理を施した素材には、塗膜劣化が早まるなど不具合を生じる場合がありますので塗装を避けてください。
- つや調整品を使用する場合は上塗り1(中塗り)に「つや有り」をご使用ください。つや調整品を2回塗りしますと、つやむらが生じることがあります。
- シーリング面は、マスキングテープなどで養生を行い、塗装を避けてください。シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起すことがあります。
- 吸い込みやすい素材では使用量が多くなります。
- 経年したサイディングボード面への塗装は、劣化が進行しており、表層内劣化部からはく離するおそれがあります。試験施工をおこなって付着性を確認してください。
- つや調整品を使用の際、吸い込みが著しい場合には、乾燥後吸い込みむらによる目地部の白化(つや消し効果のたまり)を生じることがありますので、2回目の塗装時に表面に塗膜が残らないような場合はつや有りを使用し、もしくは2コートして吸い込みを止めてから上塗りを塗装してください。下塗りは必ずつや有りを使用してください。つや調整品を下塗りに用いますと前述の目地部白化が生じやすくなります。
- 目地部が深く、ローラーなどで入りきらない場合は、目地はけなどで塗装してください。
- 目地部の塗料たまりや被塗面にダレを生じた際は、目地はけ、ローラーなどでむら切り、除去してください。
- 塗装後は濡り肌になるため、吸着色しにくくなりますのでご注意ください。特に劣化が著しい場合は色調の復元にばつつきがあります。不具合の場合は試験施工を実施して仕上がりをご確認ください。
- 仕上がりむらになりやすいため、ニッパカマックスFAや各種現場調色用着色剤を使用して調色することは避けてください。
- クリヤー仕上げは下地の状態をそのままできましては、下地の劣化が著しい場合はおすすりできません。ヘヤクラックなどの発生がなく、かつ塗装10年以内であることをご確認ください。
- 下塗りにエポキシ樹脂塗料(ニッパ浸透性シーラー(新)など)は使用しないでください。変色、はく離の可能性があります。
- 本製品は、優れた性能を発揮させるために、非常に敏感で強固な反応をするように設計されています。水やアルコール類が、塗料液や硬化剤に混入しないようご注意ください。また空気中に含まれた水分や湿気とも敏感に反応します。必ず密栓し、冷暗所に保管してください。開栓後の、プラスチック容器の封は不十分です。
- 長期間の保管(6か月以上)は避けてください。また、開栓後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- コーナーエッジやジョイント部で塗膜がはがれている場合は、ファンウレタンU100やファンシリコンフレッシュで補修した後にクリヤーを塗装してください。補修用として液タイプをご利用の場合は、塗装後必ず1日以上乾燥させてください。縮む可能性があります。
- 釘頭が出ている場合は1液ハイボンプファンデックロファンウレタンU100などを施した後クリヤーをかけてください。さび止め塗装した上にクリヤーをかけることは決してしないでください。
- 水洗後晴天下で必ず1日以上乾燥させてください。乾燥が不十分である場合、クリヤー仕上げのためボードに残った水分の影響による外観の不具合が自覚しやすくなるおそれがあります。やむを得ず冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- つや調整品では、はけ、ローラーでの塗装はむらが出やすくなりますので、スプレー塗装をおすすめいたします。
- つや調整品では、塗り継ぎや補修でつやむらが出やすいので、面を切って通して塗装してください。

■安全衛生上の注意事項

UVプロテクトクリヤーつや有り 塗料液	横倒禁止	UVプロテクトクリヤー 硬化剤	
<ol style="list-style-type: none"> 本来の用途以外に使用しないでください。 熱/火花/炎/高温のもののような着火源から遠ざけてください。—禁煙です。 容器を密栓しておいてください。 容器を接地/アースをとってください。 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用してください。 火花を発生させない工具を使用してください。 静電気放電に対する予防措置を講じてください。 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないでください。 取扱後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。 この製品を使用する時、飲食または喫煙をしないでください。 必要な時以外は、環境への放出を避けてください。 保護手段/保護衣/保護眼鏡/保護面罩を使用してください。 気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けてください。 緊急の特別な処置が必要な場合は実施してください。 飲み込んだ場合:気分が悪い時は、医師に連絡してください。口をすすいでください。 容器からこぼれた時には、布で拭き取った水を張った容器に保管してください。 漏出物を回収してください。 皮膚または髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱いでください。皮膚を流水かシャワーで洗ってください。 吸入した場合:気分が悪い時は、医師に連絡してください。 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。 ばく露またはばく露の懸念がある場合:医師の診断/手当を受けてください。 皮膚刺激を生じた場合:医師の診断/手当を受けてください。 汚染された衣類を脱いで、再使用する場合には洗濯してください。 火災の場合:消火に適切な手段を使用してください。 施設して保管してください。 換気の良い場所で保管してください。涼しいところにおいてください。 直射日光や水濡れは厳禁です。 塗料等の缶の積み重ねは3段までとってください。 29 容器は、フリ上げしないでください。やむを得ずフリ上げるときには、適切なフタリで、垂直に持ち上げ、落下に十分注意してください。(個包装の場合は取っ手付外れ、落下時の危険があります) 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度にばく露しないでください。 31 内容物、容器を国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。 32 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。 	<p>横倒禁止</p>	<ol style="list-style-type: none"> 本来の用途以外に使用しないでください。 熱/火花/炎/高温のもののような着火源から遠ざけてください。—禁煙です。 容器を密栓しておいてください。 容器を接地/アースをとってください。 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用してください。 火花を発生させない工具を使用してください。 静電気放電に対する予防措置を講じてください。 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないでください。 取扱後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。 この製品を使用する時、飲食または喫煙をしないでください。 1 塵芥または換気の良い場所でのみ使用してください。 2 必要な時以外は、環境への放出を避けてください。 3 保護手段/保護衣/保護眼鏡/保護面罩を使用してください。 気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けてください。 緊急の特別な処置が必要な場合は実施してください。 飲み込んだ場合:気分が悪い時は、医師に連絡してください。口をすすいでください。 容器からこぼれた時には、布で拭き取った水を張った容器に保管してください。 18 漏出物を回収してください。 19 皮膚または髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱いでください。皮膚を流水かシャワーで洗ってください。 20 吸入した場合:気分が悪い時は、医師に連絡してください。 21 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。 22 ばく露またはばく露の懸念がある場合:医師の診断/手当を受けてください。 23 皮膚刺激を生じた場合:医師の診断/手当を受けてください。 24 汚染された衣類を脱いで、再使用する場合には洗濯してください。 25 火災の場合:消火に適切な手段を使用してください。 26 施設して保管してください。 27 換気の良い場所で保管してください。涼しいところにおいてください。 28 直射日光や水濡れは厳禁です。 29 塗料等の缶の積み重ねは3段までとってください。 30 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度にばく露しないでください。 31 内容物、容器を国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。 32 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。 	
<p>危険</p>	<p>危険有害性情報</p> <p>引火性液体及び蒸気/皮膚刺激/生殖能又は胎児への悪影響のおそれ/臓器の障害のおそれ(単回ばく露)/長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ/水生生物に非常に強い毒性/長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性</p>	<p>危険</p>	<p>危険有害性情報</p> <p>引火性液体及び蒸気/皮膚刺激/吸入すると有害/生殖能又は胎児への悪影響のおそれ/臓器の障害のおそれ(単回ばく露)/長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ/水生生物に非常に強い毒性/長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性</p>
<p>*上記の表示は、一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。■詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。</p>			

日本ペイント株式会社

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 北海道支店 ☎ 011-370-3101 | 近畿支店 ☎ 06-6455-9608 |
| 東北支店 ☎ 022-232-6712 | 中国支店 ☎ 082-281-2180 |
| 関東支店 ☎ 03-5479-3614 | 四国支店 ☎ 0877-56-2346 |
| 北関東信越支店 ☎ 03-5479-3614 | 九州支店 ☎ 092-751-9861 |
| 中部支店 ☎ 052-461-1960 | |

- 本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名「ビュアライド」・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright 2018 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ http://www.nipponpaint.co.jp/

カタログNo.
NP-W075

AA180710T
2018年7月現在

ピュアライド UVプロテクトクリヤーシリーズ

高意匠サイディングボード用セラミック系外壁保護クリヤー

ピュアライド UVプロテクトクリヤー

高意匠サイディングボード用フッ素系外壁保護クリヤー

ピュアライド UVプロテクト4Fクリヤー



PURERIDE UV PROTECT CLEAR SERIES



UVプロテクトクリヤーシリーズなら
デザイン性の高いサイディングボードの
美しさをそのままに、さらに長持ちします。



COATING TECHNOLOGY



世界をリードする日本の自動車産業、
そのコーティングテクノロジーを支える日本ペイントだからできる発想。

日本建築仕上材工業会登録
ホルムアルデヒド
放散等級 F☆☆☆☆

Basic & New
日本ペイント

耐久性

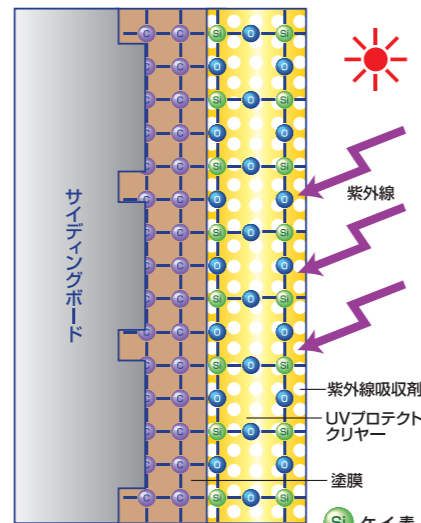
外壁の美しさを長持ちさせるUVプロテクトクリヤーシリーズ。

UVプロテクトクリヤーシリーズはセラミック系[※]樹脂タイプとフッ素樹脂タイプ。それぞれ超耐候性を実現します。緻密で強力に結合した分子構造と紫外線吸収剤の働きで、外壁の劣化を長期間おさえます。UVプロテクトクリヤーシリーズなら、サイディングボードを新築時に近い風合いのまま、長期に維持できます。

[※]当製品の一般名称に使用されている「セラミック系」はアクリルシリコン樹脂を意味します。

【UVプロテクトクリヤーシリーズの場合】

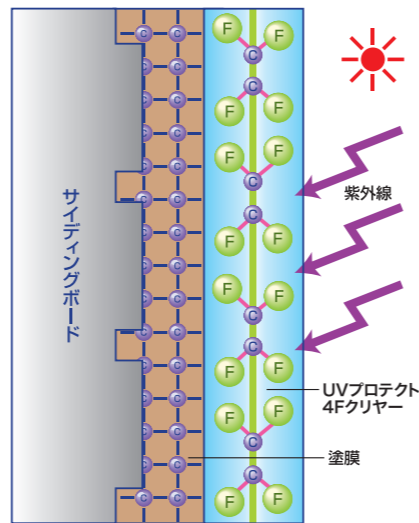
UVプロテクトクリヤー



結合が切れにくい+紫外線を吸収
ケイ素(Si)と酸素(O)の強力な結合のため紫外線での劣化はほとんどありません。紫外線吸収剤の働きで、外壁塗装の色落ち、色あせを防ぎます。

- Si ケイ素
- O 酸素
- C 炭素

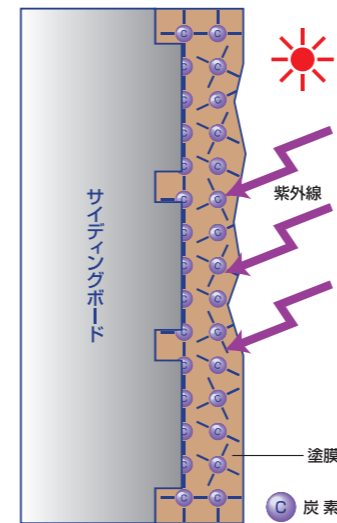
UVプロテクト4Fクリヤー



フッ素効果[※]
4フッ化エチレンの強力な結合により耐久性が持続します。
[※]UVプロテクト4Fクリヤーの場合

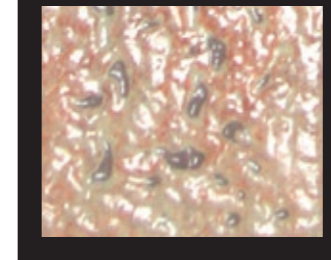
- C 炭素
- F フッ素 (4フッ化フッ素樹脂)

【一般的な塗装の場合】



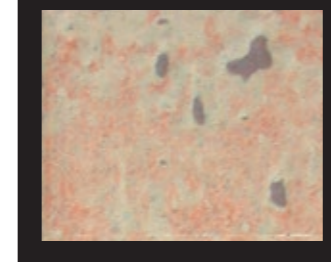
結合が切れやすい+紫外線が透過
紫外線が塗装面を侵食、ひび割れや雨ジミの原因になります。

UVプロテクトクリヤーシリーズ塗装後のサイディングボード表面



[※]写真はつや有り2回塗りです。3分つや有りの場合は落ち着いたつやになります。

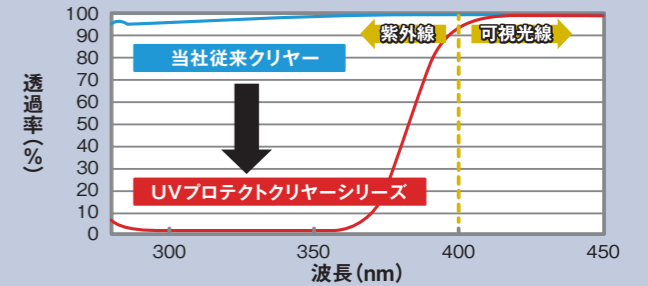
塗装前のサイディングボード表面



■紫外線(ultraviolet)とは…

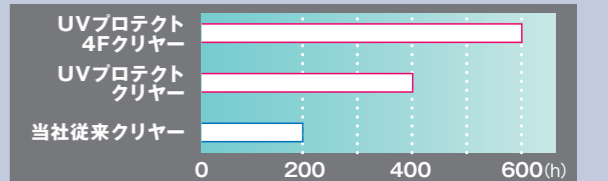
地表に届く太陽光のうちで波長が最も短かく、目に見えない高エネルギーの光線です。紫外線は人の健康や環境への影響度の観点から、波長によってUV-A (315~380nm)、UV-B (280~315nm)、UV-C (200~280nm)の3つに分けられます。地表に到達する紫外線の99%がUV-Aであり、UV-Bはオゾン層などに大半は吸収されますが一部(295nm以上)が地表へ到達します。また、UV-Cはオゾン層などの大気層に阻まれて地表には届きません。私達が日常曝されている、この波長295~380nmの紫外線は皮膚などの人体に悪影響を及ぼすと同様に塗膜劣化を促進させます。UVプロテクトクリヤーシリーズは、この波長領域の紫外線の透過を減らすことにより、塗装面の劣化を抑制し長期にわたって保護します。

▶▶ UVプロテクトクリヤーシリーズの紫外線抑制効果



塗膜を劣化させる紫外線領域(295~380nm)がほぼ抑制される。

耐久性(SUV) 表面劣化が認められるまでの時間



試験機器:スーパーUV(SUV) - メタルハライドランプ式耐候性試験機
放射照度:1,000W/m² 湿度制御方式:蒸気加湿方式

日々、紫外線や風雨にさらされている家の外壁。新築~10年以内に、外壁がきれいな状態でのUVプロテクトクリヤーシリーズの使用をおすすめします。

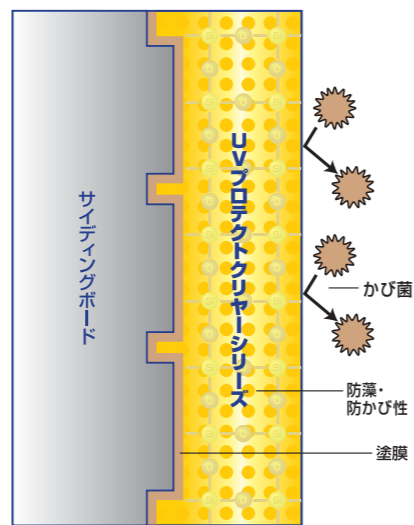
[※]サイディングの劣化状況により適用可能な期間が変わります。

超低汚染性

汚れやかびに強い外壁に生まれ変わります。

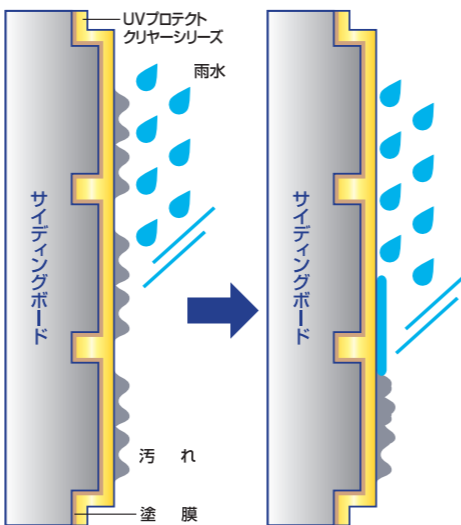
UVプロテクトクリヤーシリーズを施した外壁なら、表面に付着した汚れを、雨が浮かせて流すことができます。さらに、UVプロテクトクリヤーシリーズには防かび・防藻性があり、嫌なかび菌や藻の発生を長期間にわたり抑制することができます。それらの性能により、住宅の外観を長期間清潔に、美しく保つことができます。

【防かび・防藻性】



★かび菌をバリア。藻の発生も防ぎます。

【雨で汚れが浮き上がり、流れます】



★汚れの下に雨水が入り込み、汚れを浮かせ、そのまま流し落とすことができます。

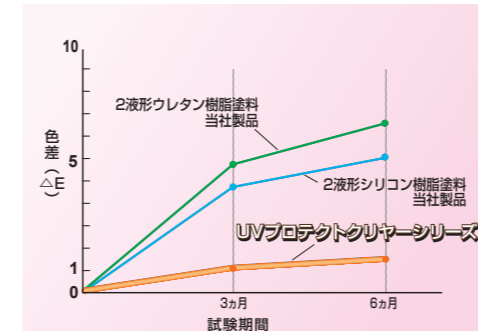
超低汚染性 ~雨垂れ暴露促進試験による汚染性能試験~

●雨垂れ暴露促進試験による汚染性能試験
屋外にて塗板を暴露し、雨筋状の汚れのつく程度を目視により測定します。試験開始6ヵ月後では、当社の一般のシリコン樹脂塗料やウレタン樹脂塗料と比べて、雨筋状の汚れが少ないことがわかります。

＜超低汚染のメカニズム＞

雨垂れによる汚染などを防止するためには、塗膜表面が水になじむような性質(親水性)であることが重要です。カーボン等の汚染物質には油の性質があり、塗膜表面も水をはじくような油の性質(親油性)を持っていると、汚染物質が表面に付着しやすくなります。しかし塗膜表面が親水性であると、油の性質の汚染物質は付着しにくく、降雨時の雨水が汚染物質と一緒に流すことができます。

【超低汚染性比較データ】(実施場所:大阪・寝屋川市)



[※]ΔEの数値が小さいほど、耐汚染性にすぐれていることを示しています。
[※]建物の構造によっては低汚染性が発揮されにくい場合があります。



▶▶ 施工実績

東久留米市 T様邸



▲塗り替え後(サイディング)



◀塗り替え前(外観)

▼塗り替え前(サイディング)



▼塗り替え前(外観)